

老朽化した導水路トンネルの中には、断面積が 5 m<sup>2</sup>程度の小断面導水路トンネルが多数あります。しかし、覆工の全面改修工事を行う上で適用できる小型の専用切削機がなく、しかも発電の早期再開のために工期短縮が不可欠なことから、切削作業の機械化が求められてきました。

そこで、これらの改修工事を効率よく安全に施工することが出来る専用機械を(株)三井三池製作所と共同で開発しました。

## 概要

### OUTLINE

- 伸縮アームにより、各種トンネル断面で任意の深さの切削が可能です。
- 機体が小型化されているため、自重が軽く、搬出入が容易に行えます。
- 高い切削能力と精度を確保できます。
- 遠隔操作することにより、作業員の安全を確保できます。
- 他工種との並行作業が可能のため、工期の短縮が可能です。



適用断面	馬蹄、幌型断面
適用断面積	断面 4 m <sup>2</sup> ~ 7 m <sup>2</sup>
機体寸法 全長	6576mm
全幅	1880mm
全高	1887mm
全体重量	約 10 t
電動機	60kw
カッター形式	シングルドラム
切削能力	約 1.9m <sup>3</sup> /h
走行方式	尺取方式

## 実績・実例

### RECORD OF WORKS

・小屋敷トンネル 2000  
年

